

2016年11月9日

薬友会 三支部合同研修会 ご報告

〔はじめに〕

天候にも恵まれ、11月5日(土)に予定通り、千葉支部、東京支部、神奈川支部合同で約30名参加のもと「薬友会 三支部合同研修会」が開催されました。楽しい開催の様子を当日ご参加できなかった薬友会員の方々にもご覧頂きたくご報告申し上げます。

【開催概要】

〔日時〕 2016年11月5日(土) 14:00～18:30

〔場所〕 千葉大学薬学部医薬系総合研究棟 II期棟 B1F 会議室

(〒260-8675 千葉市中央区亥鼻 1-8-1) <http://www.p.chiba-u.jp/>

〔主催〕 千葉大学薬友会 東京支部・神奈川支部・千葉支部合同

〔テーマ〕 薬友会三支部合同研修会 (学園祭の開催に合わせて)

〔スケジュール〕

14:00～15:30 研究室見学

15:30～16:20 「千葉大学薬学部の近況」薬友会会長 齊藤和季先生

16:20～ 懇親会 (18:30 中締め)

〔研究室見学〕 見学ツアー15名

① 病態分析化学研究室 (I期棟 2F)

…戸井田敏彦教授が不在のため、東恭平先生に案内して頂く。コンドロイチン硫酸の研究(同定、抽出、精製、糖鎖分析、合成調節機構の解明など)を紹介して頂き、HPLC、LCMS、GCMS、ICPMSなどの機器や新しい研究設備も見学させて頂きました。



② 薬効薬理学研究室（I期棟 5F）

…村山俊彦教授と林今日太さんに案内して頂く。アラキドン酸、プロスタノイド、セラミド、スフィンゴ脂質、コレステロールなど研究の一端を紹介して頂き、たんぱく電気泳動、マグヌス装置、細胞培養装置なども見学させて頂きました。



③ 薬品合成化学研究室（II期棟 2F）

…西田篤司教授に案内して頂く。全合成と有機化学をベースにセラミドの蛍光や有機溶剤の排液での安全性への配慮などを紹介して頂いた。全面ガラス製の最新大型ドラフト装置には感動しました。



※ご協力頂きました先生方や研究室の皆様、誠にありがとうございました。

〔薬友会会長講演〕

西田教授の司会のもと「千葉大学薬学部の近況」と題して、齊藤和季教授（研究院長・学部長）にご講演頂きました。薬学部は現在、創成薬学、生命薬学、臨床薬学の3研究部門のもと、5講座、25研究室にて最先端の研究活動が進められており、本年の入試状況の難関さや初めて男性の入学者数が女性を上回ったことなどには驚きでした。薬剤師国家試験合格率97.1%や薬学教育評価適合認定証の受賞など素晴らしいです。二学科の方向性など今後の千葉大学薬学部が進む方向性について参加者は真剣に聞き入っておられました。



〔懇親会〕

中村英雄（昭和 52 年）さまの司会により、渡辺和夫先生（昭和 33 年）の乾杯のご発声でスタートし、船岡紀子（昭和 48 年）千葉支部長、渡辺楷（昭和 33 年）東京支部長からご挨拶を頂きました。研究室見学に対応頂いた学生さんや薬品合成化学研究室の学生さんも交えて、世代を超えた交流が実現して楽しいひと時となり、矢沢浩一（昭和 58 年）の中締めでお開きとなりました。



※写真は全て片野佐太郎さま（昭和 52 年）撮影です。

（文責）矢沢 浩一（東京支部幹事；昭和 58 年）